



十六拍子×葛原太鼓

3つの小学校が太鼓で交流

11月28日、伊自良北小学校で、同校全校児童、伊自良南小学校3年生、いわ桜小学校全校児童が、太鼓の交流をしました。

地域の文化を学ぶ一環として、いわ桜小学校では葛原太鼓に、伊自良北・南小学校では十六拍子に取り組んでいます。

当日は、各学校が太鼓の演奏を披露した後、3校混在のグループを作り、互いに太鼓を教えあつて実際に演奏しました。交流を通し、それぞれの伝統を継承していこうとするたくましさを感じました。



山県高校でふるさと教育

市内個性派スポットを巡るツアー

12月8日、山県高校の1年生が市内の個性派スポットを巡るツアーを行いました。

生徒は3つのグループに分かれ、田原川や古民家水音、東光寺などの市内スポットを巡りました。

あるグループでは、美山農園で深谷元さん・千佳さんから農業に関する話を聞き、ハクサイとダイコンの収穫体験を行いました。その後、四国山香りの森公園やレトロミュージアムを訪れ、山県市の魅力に触れる一日となりました。



起業家精神を学ぶ

グリーンショップ開店

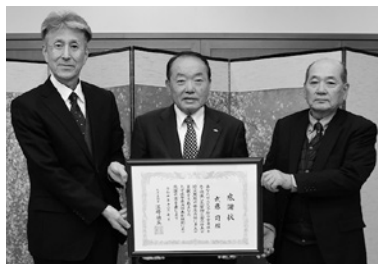
12月12日、てんこもり農産物直売所で、伊自良南小学校の4から6年生までの児童が、グリーンショップを開店しました。

同校は、地域活性化起業家の樋口彩乃さんを講師としたアントレプレナーシップ（起業家精神）教育を進めています。その一環として、校内で伐採した木を販売することとなり、販売方法や値段設定を児童が考えました。4年生は薪、5年生はお米、6年生はメッセージ入りスプーンとナツチョルくんコースターを作成し、協力して販売しました。



広告

山県市危険物安全協会 感謝状受領報告



12月12日、山県市危険物安全協会会長の武藤司さんが、岐阜県知事から、消防・防災などの予防に関して多大な貢献をしていると認められ感謝状を受領したことを受け、市長を表敬訪問しました。

武藤さんは「ガソリンや灯油などの石油類を扱う事業者として、火災や事故を起こさないよう、これからも日々の予防を徹底していく」と話しました。

笑いの力で山県市を元気に お笑いフェスティバル



12月7日、美山コミュニティセンターで、冬のお笑いフェスティバルが行われました。

当日は、11月から3回にわたって行ったワークショップで笑いの技術を身につけた受講者6組が漫才を披露しました。

また、よしもとお笑いステージでは、芸人による漫才や市長も出演した吉本ミニ新喜劇が行われました。会場には笑いがあふれ、終始あたたかな雰囲気になりました。

FC岐阜横山智也選手 一日警察署長に任命



12月3日、山県警察署で、市出身でサッカーFC岐阜ホームタウン応援大使の横山智也選手が一日警察署長に任命されました。

委嘱式の後、横山選手や警察官らは、市内の金融機関などへ交通安全や特殊詐欺被害防止などを訴える防犯パトロールに向かいました。

横山選手は「年末年始は事故や犯罪が発生しやすいため、気を引き締めて笑顔で新年を迎えられるようにしてほしい」と呼びかけました。

富岡小学校が日本学校 歯科医会会長賞受賞



第64回全日本学校歯科保健優良校表彰において、富岡小学校が日本学校歯科医会会長賞を受賞しました。

同校は、児童保健委員会主体の歯みがきの取り組みをはじめ、学校歯科医の指導や各家庭での親子歯みがきの取り組みなど、皆で一緒になって口腔の健康づくりを推進しています。

その成果が認められ、このたびの受賞となりました。

森自治会が宝くじ助成金で 公民館と備品を整備



令和7年度コミュニティ助成事業を活用し、森自治会が公民館の建設と備品の整備をしました。コミュニティ助成事業とは、一般財団法人自治総合センターが行う宝くじの社会貢献広報事業です。宝くじの受託事業収入を財源とし、住民が自主的に行うコミュニティ活動に必要な施設、設備に助成します。

なお、公民館の建設には山県市自治会集会所建設事業補助金も活用しています。

現地で見て学ぶ 東光寺本堂の説明看板を設置



市指定重要文化財の東光寺本堂を解説した看板が本堂前に設置されました。本堂を間近で見ながら、建物の構造や特徴などについて知ることがができます。

看板を通して文化財への興味関心を高め、地域の歴史や文化への理解を深めることが期待されます。東光寺住職の彦坂怜宗さんは「来訪者に文化財としての価値を周知しやすくなった」と話しました。